

高齢社会に対応した歯科衛生士の育成 — 歯科口腔介護教育のカリキュラムへの導入 —

事業推進責任者 金子 潤 (歯科衛生士学科)

補助事業の実績

- ① 歯科口腔介護および一般介護用機材・器具の設置・整備により、現在までに行なってきた基礎実習・臨地実習の充実と、更なる実習内容の拡大・発展を図った。また、平成18年度より新規開講される「福祉総論・看護論」および「介護技術論」で必要となる講義資料、実習器材等の準備を行なった。
- ② 過去9年間の臨地実習で収集した歯科口腔介護関連データの整理・集計を行なうことにより、本取組の有効性をさらに検証し、問題点の分析と解決法を検討した。また、関連学会においてその成果を発表した。
- ③ 「歯科口腔介護（講義編）」のコンテンツ作製を行なった。また、講習会等への参加によりe-Learningに関する見識を深め、ネットワークを通じた教育体制の整備に役立てた。
- ④ 歯科口腔介護教育フォーラムの開催、関連学会等への参加と発表、雑誌等への掲載を行ない、本取組の内容についての公表・普及を図った。また、他校の歯科口腔介護教育の実態調査・情報収集・情報交換を行ない、本取組の充実・発展のための参考とした。
- ⑤ 福祉（介護）分野の専門家による特別講義を実施した。

補助事業に係る具体的な成果

- ① 歯科口腔介護および一般介護用機材・器具の設置・整備により、現在までに行なってきた基礎実習・臨地実習の充実と、更なる実習内容の拡大・発展を図ることによって、学生の歯科口腔介護および一般介護における知識・技術を向上させることができた。また、平成18年度より新規開講される「福祉総論・看護論」および「介護技術論」で必要となる講義資料、実習器材等の準備を行なうことにより、より質の高い福祉（介護）分野の教育が可能となった。
- ② 過去9年間の臨地実習で収集した歯科口腔介護関連データの整理・集計および歯科口腔介護教育の有効性の検証によって、本取組のさらなる充実・発展につなげることができた。また、有効性を検証・公表することによって、学生が本取組で習得した知識・技術の裏付けとなり、就職時の選択肢の拡大と就職後の自信につながった。
- ③ e-Learning「歯科口腔介護（講義編）」コンテンツの作製により、ネットワークを通して学生が講義内容を自由に閲覧して学べる環境が整い、教育の合理化を達成することができた。また、e-Learning関連の講習会等への参加により、教員の資質向上とe-Learningシステムの整備・充実に役立てることができた。
- ④ 「歯科口腔介護教育フォーラム2006」を開催して歯科衛生士養成課程における歯科口腔介護教育のあり方を具体的に広く公表することにより、全国の歯科衛生士養成校に本取組の内容を発信し、高齢社会に対応した歯科衛生士育成の全国的展開につなげることができた。また、関連学会に参加して他校の歯科口腔介護教育の実態調査・情報収集・情報交換を行なうことにより、本取組の参考とし、教育効果の向上に役立てることができた。
- ⑤ 福祉（介護）分野の専門家による特別講義の実施により、学生の福祉（介護）分野全般に対する見識が深まり、障害者や高齢者のニーズに応えられる高齢社会を見据えた歯科衛生士の育成に役立った。